

住んでいてよかった

これからも住み続けたい

ふるさと能生の実現



NOU

能生地区
新潟県糸魚川市

地域づくりプラン

〈策定委員〉

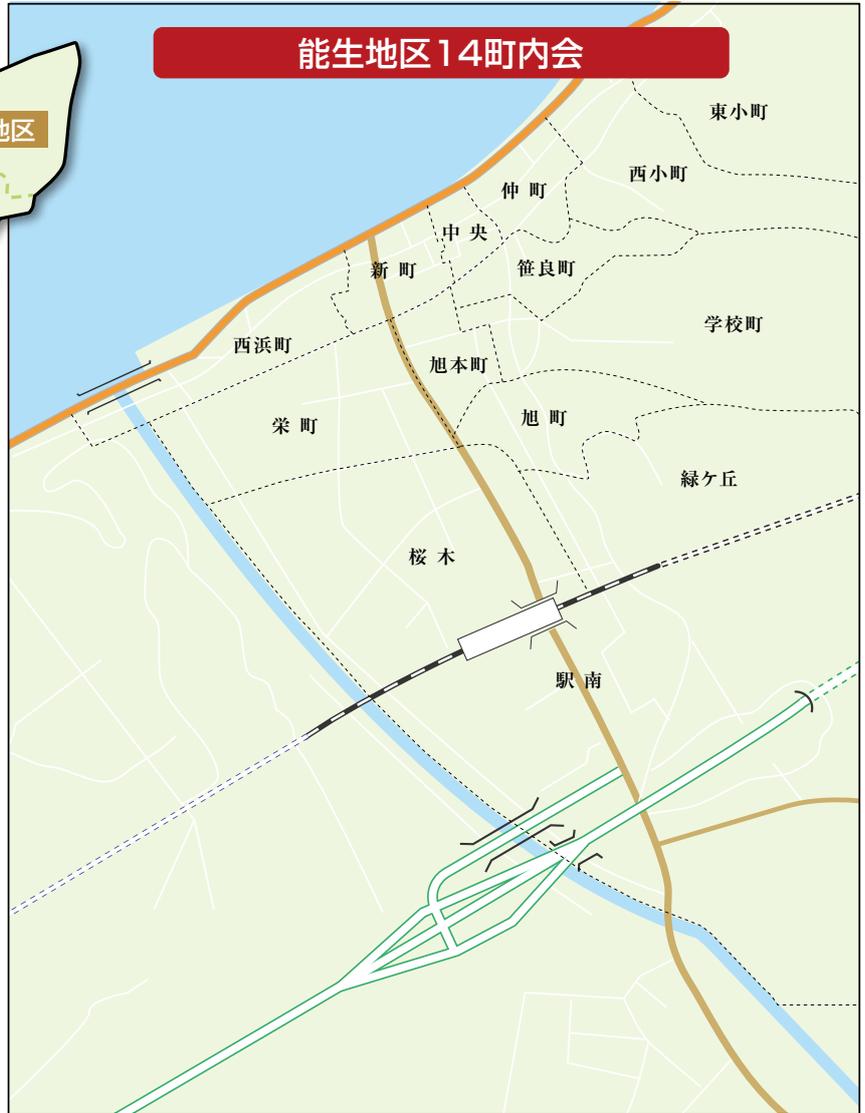
西浜町	関澤 明	渡辺 春治	山崎 由美
栄町	井守 正夫	齋藤 修	
新町	中嶋 茂	林見 節子	
中央	池田 正夫	吉田 和夫	五十嵐 保
笹良町	富田 二郎	恩田 正身	
学校町	中村 利勝	伊藤るみ子	
旭本町	中村 藤一	橋立 広美	
旭町	平原 直人	高野 邦夫	
緑ヶ丘	小笠原勝久	井伊 和夫	
駅南	丸山 公一	滝川 久幸	伊藤 良一
桜木	伊藤 清正	湯尾 千和	
仲町	高橋 眞	中嶋のり子	
西小町	中村喜代志	真部 孝子	
東小町	真部 清三	山崎雄一郎	
海洋高校	中村 舞白	平田 恭子	
地区公民館	大友 和恵	木村美耶子	



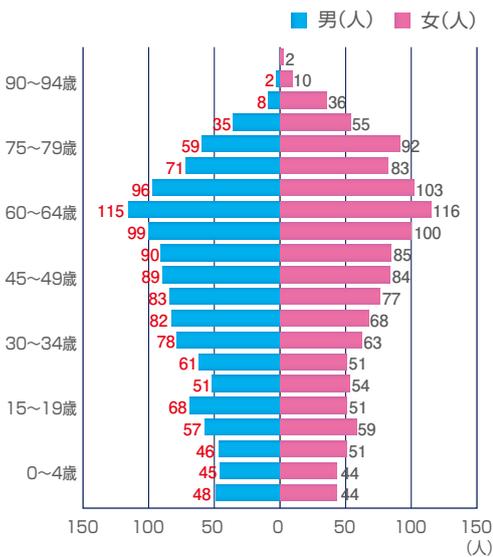
目 次

1	地域づくりプラン策定の趣旨	1
2	地域づくりの基本方針	1
3	地域づくりの目標と方針	1
4	計画の期間	1
5	現状と課題	2
6	地域づくりプランの将来像・目標・方策	2
7	地域づくりプラン構造図	3
8	具体的な取組み	4
	<ul style="list-style-type: none"> ① 絆を深めるまち <ul style="list-style-type: none"> 方策① あいさつ・声かけ運動の推進 ② 交流の輪が広がるまち <ul style="list-style-type: none"> 方策① 能生地区体育祭の活性化 方策② 夏まつりの開催 方策③ 地区のよさの再発見 方策④ 敬老祝賀会の工夫・改善 ③ 伝統行事・文化が息づくまち <ul style="list-style-type: none"> 方策① 祇園祭の盛り上げ 方策② 灯籠揃いの拡充 ④ 安全で安心なまち <ul style="list-style-type: none"> 方策① 危険個所マップづくりと活用 方策② 高齢者の支援体制の確立 方策③ 子どもの安全確保の強化 ⑤ 健康で生きがいのあるまち <ul style="list-style-type: none"> 方策① 環境整備活動の推進 方策② ウォーキングの奨励 方策③ 高齢者サロンの普及 	
9	まちづくり推進協議会事業 関係図	8
10	年度別収支計画	9
11	まちづくり推進協議会 推進体制	10

能生地区の概要



能生地区人口ピラミッド H28.4.1現在



行政区別人口・世帯数・高齢化率の推移 H28.4.1現在

行政区	人口(人)			世帯数(世帯)			高齢化率(%)		
	H18.4.1	H23.4.1	H28.4.1	H18.4.1	H23.4.1	H28.4.1	H18.4.1	H23.4.1	H28.4.1
西浜町	224	182	168	74	71	66	27.68	35.71	40.48
柴町	263	290	293	84	96	103	17.49	18.28	22.58
新町	166	149	142	53	53	50	28.31	31.54	29.58
中央	178	138	123	58	54	51	28.65	37.68	50.41
笹良町	100	87	77	35	28	32	27.01	27.59	28.57
学校町	199	170	165	68	66	64	30.65	35.88	36.97
旭本町	167	159	142	55	54	53	27.54	25.79	35.92
旭町	145	137	137	53	56	51	35.17	41.61	39.96
緑ヶ丘	194	155	152	63	54	63	30.41	36.13	32.89
桜木	416	446	462	130	145	159	24.54	27.13	27.06
駅南	390	398	382	112	116	120	25.38	25.38	28.81
仲町	103	99	95	41	40	37	37.86	45.45	49.47
西小町	165	151	129	61	56	52	37.58	41.72	51.16
東小町	185	155	144	59	56	55	32.43	39.35	42.36
合計	2,895	2,716	2,611	946	945	956	28.05	31.19	33.82

前回より増 前回より減 前回と同じ

番号	施設名	番号	施設名	番号	施設名
1	糸魚川市(能生事務所)	10	下水道処理施設	23	山岸歯科医院
2	能生生涯学習センター	11	能生交番	24	能水商店
	能生地区公民館	12	能生郵便局	25	恋する灯台
	能生図書館	13	シルバー人材センター	26	デイサービスセンターささら苑 在宅介護支援センターささら苑 能生地域包括支援センター
能生地区社会福祉協議会	14	能生テニスコート			
3	消防能生分署	15	いずみ保育園		
4	能生商工会	16	能生保育園	27	デイサービスセンターはま グループホームゆうなぎ 居宅介護支援事業所あかり
5	ふれあい直売所	17	能生小学校		
6	能生児童館	18	能生中学校		
7	地域活動支援センター いちょうの家・青空工房	19	県立海洋高等学校	28	能生内水面漁業協同組合
		20	真部外科医院	29	
8	能生体育館	21	室川医院	30	
9	ガス供給所	22	高鳥歯科医院		



地域づくりプラン策定の趣旨

少子高齢化が進むなか、ここ能生地区も同じ問題を抱え、地区の活力が失われつつあります。昔ながらのよさである地区の共助・共生を再構築するため、心豊かな郷土愛に満ちたまちづくりを目指し、プラン策定に取り組みました。

プラン策定に当たっては、糸魚川市総合計画に基づき地区住民と行政が協働してまちづくりができるよう、町内会連合会と各町内会から選任された地区委員等が中心となって策定委員会を組織し、能生地区の進むべき方向について検討してきました。

地域づくりの基本方針

平成22年度以来、地区では町内会連合会・地区公民館が主体となって行政機関等と連携しながらまちづくりを進めてきました。現在も「あいさつ運動」や「フウセンカズラの活動」など地区の連帯感を高める様々な活動に取り組んでいます。

このようなまちづくりの気運は能生地区の大きな誇りであり財産です。これからもこれらの活動を核として地区の一体感を高めていくことが大切であることから、取組みの基本的な考え方としてまちづくりの将来像を次のように掲げました。

住んでいてよかった これからも住み続けたい ふるさと能生の実現

地域づくりの目標と方針

能生地区は、豊かな自然と歴史的文化に恵まれ、お互いが助け合い地区一体となったあたたかい人間関係を育んできました。これからも、誰もが安全で安心して暮らせる支え合いが求められ、そのためにはお互いがお互いを認め、信頼関係をより深めることで地区の機能を高め、活力を育んでいきます。

計画の期間

活動においては、連合会や公民館そして一部の役員に任せるのではなく、地区民が主体となって役割と責任を担い連携・協力しながら事業の推進に努めます。

プランの期間は、平成29年度から平成33年度までの5年間とします。なお、社会情勢等を見据え随時見直しをすることができるものとします。

5 現状と課題

● 現 状

能生地区の概要で示すとおり、人口の減少と少子高齢化がはっきりと表れており、この傾向は年々著しくなることが予想されます。世帯数も減少の一途をたどり、高齢者のみの世帯がますます増えてきております。

これらの現象から、近い将来能生地区において、町内会組織を維持することが困難となることも考えられます。

● 課 題

- ▶ 少子高齢化により地域の活力が失われつつある。
- ▶ 人と人とのつながりが薄くなっている。
- ▶ 若者の流失が止まらない。
- ▶ 町内会の構成等(世帯数など)に不均衡がある。
- ▶ 地域行事への関心が薄い。
- ▶ 町内会長等役員への負担が多くなり、選任に苦勞する。
- ▶ 子ども会行事ができない。
- ▶ 防災・防犯面の不安を感じている。
- ▶ 各種事業の運営に一部の人しか携わらない。

6 地域づくりプランの将来像・目標・方策

地域づくりプランの将来像及び目標、方策の一部については、地区の活性化に向け、すでに取り組みを進めてきています。プランの策定では、地区の現状を踏まえ、いままでの取り組みを含め総合的に検討することになり、住民アンケートの実施やワークショップ等を経て次のようになりました。これらの方策を確実に実施するため、ワークショップでの提言などをもとに方策ごとの企画・工程表を作成し、それを参考にしながら推進していきます。



てら小屋



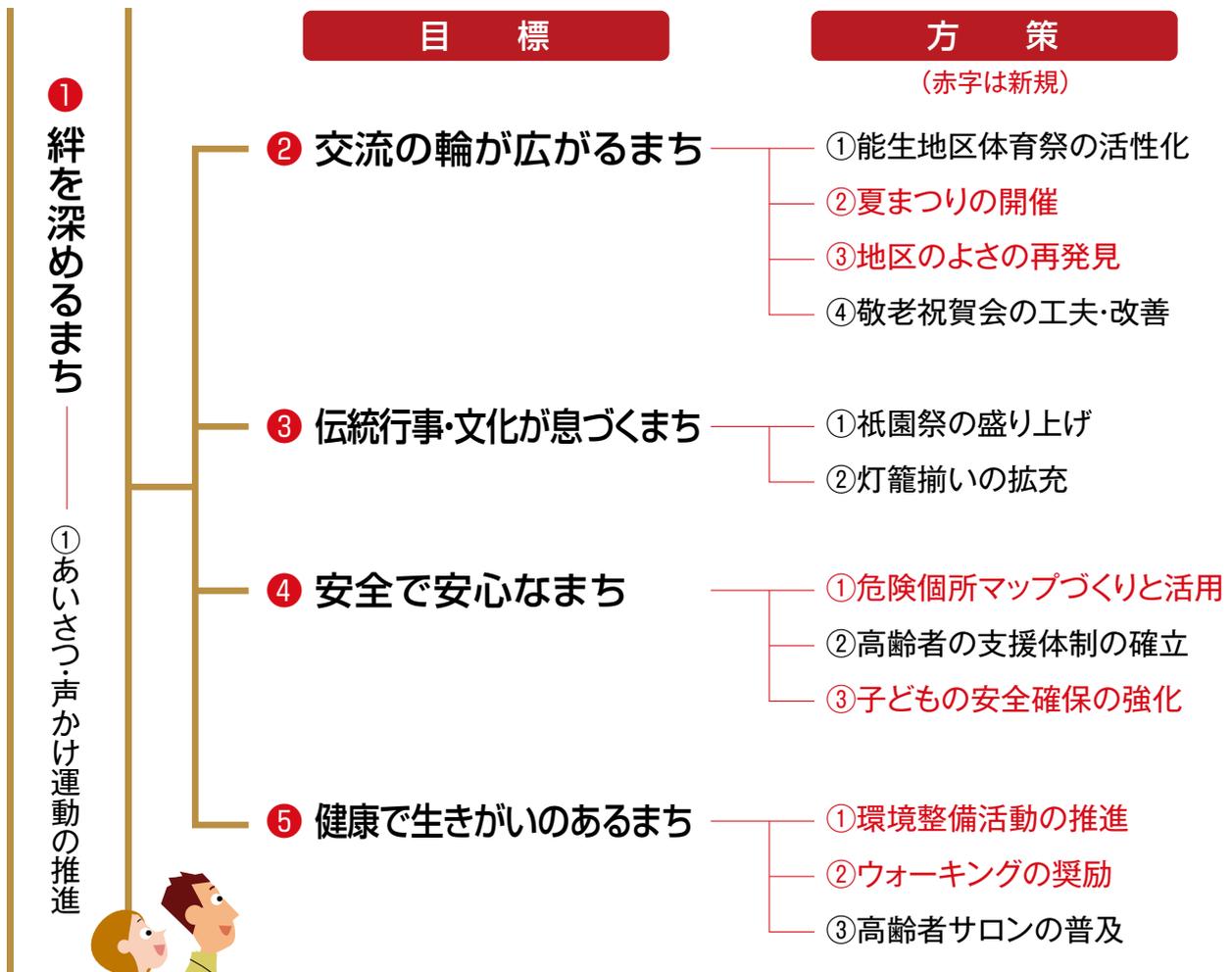
能生地区体育祭



ウォーキング

将来像

住んでいてよかった これからも住み続けたい ふるさと能生の実現



※「① 絆を深めるまち」については、目標②～⑤の基本になるものと捉えています。

① 絆を深めるまち

- **目 標** 日頃から地区民が助け合い、支え合う近隣関係を築くことがまちづくりの基本です。お互いに思いやりの心を持ち、近所同士の声かけや助け合いが日常的に行われるようなまちづくりを目指します。

方 策①

あいさつ・声かけ運動の推進

平成22年度からあいさつ運動を推進してきました。この運動をより幅広く地区民全体に広げ、あいさつが飛びかい、近隣同士で声を掛け合うことで世代を超えて絆を深める活動を進めます。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
継 続	改 善				→

② 交流の輪が広がるまち

- **目 標** まちづくり推進協議会や能生地区公民館などの行事や活動に進んで参加し、子どもから高齢者を含むいろいろな人たちとのふれあいを目指します。

方 策①

能生地区体育祭の活性化

多くの地区民が進んで体育祭に参加し、交流を深めることができるよう工夫・改善を図ります。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
継 続	改 善				→

方 策②

夏まつりの開催

以前開催していた盆踊りをもとに、交流を前面に出したお祭り広場を目指し、より多くの地区民が参加したくなる夏まつりを企画・運営します。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	新 規	改 善			→

方 策③ 地区のよさの再発見

能生地区のよさやすばらしさを多面的にとりあげ、具体的な活動を通して地区民や地区外の人に能生地区のよさを伝える活動を進めます。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
		調査・検討	新規	改善	→

方 策④ 敬老祝賀会の工夫・改善

年に1回の開催で、ふだん交流できない人とのふれあいやおしゃべりなどで交流を深める会を企画・運営します。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
継続	改善				→

③ 伝統行事・文化が息づくまち

- 目 標 地区の行事や祭りなどに、地区民一人ひとりが積極的に関わることにより、郷土への誇りや愛着心を養います。

方 策① 祇園祭の盛り上げ

大人と子どもの神輿の練り歩きの同日開催を中心に、青年会や子ども会との連携を図るとともに参加者拡大に向けた取組みや盛り上げのための工夫・改善を行います。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
継続	改善				→

方 策② とうろうぞろ 灯籠揃いの拡充

公民館で灯籠揃いへ向けた絵画教室を開催し、行事を盛り上げてきました。さらに灯籠揃いを盛大にするための工夫・改善を図ります。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
継続	改善				→

4 安全で安心なまち

- **目 標** 子どもや高齢者、障がいのある人も安心して暮らせるように、様々な角度から安全で安心に配慮されているまちを目指します。

方 策① 危険箇所マップづくりと活用

地区内の危険箇所をあらゆる面から洗い出し、マップを作成します。できたマップは、様々な事業や活動に活用します。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
		新規	改善		→

方 策② 高齢者の支援体制の確立

元気印の会と連携しながら事業や活動を推進してきました。これからも連携を強化し、高齢者支援のための学習活動や体制づくりを進めます。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
継続	改善				→

方 策③ 子どもの安全確保の強化

登下校時の安全のために、具体的な取組みを考え、保・小・中・高・PTAと連携して子どもの安全確保のための体制づくりや活動を推進します。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	新規	改善			→



5 健康で生きがいのあるまち

- **目標** 「自分の健康は自分で守る」を基本に、一人ひとりが健康について考え、進んで実践する地区を目指します。

方策① 環境整備活動の推進

能生地区を他地区に自慢できる潤いのあるまちにするために、クリーン活動を見直すとともに、新たな事業を推進します。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
			新規	改善	→

方策② ウォーキングの奨励

地区民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、実践につなげるための学習やウォーキングコースの設定など誰でも参加できる体制を整えます。

● 工程の概要

28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
	新規	改善			→

方策③ 高齢者サロンの普及

すでに活動を行っている町内会のサロンを参考に、各町内会でのサロンの設置を促し、高齢者が充実した時間が過ごせるような具体策を検討し推進します。

● 工程の概要

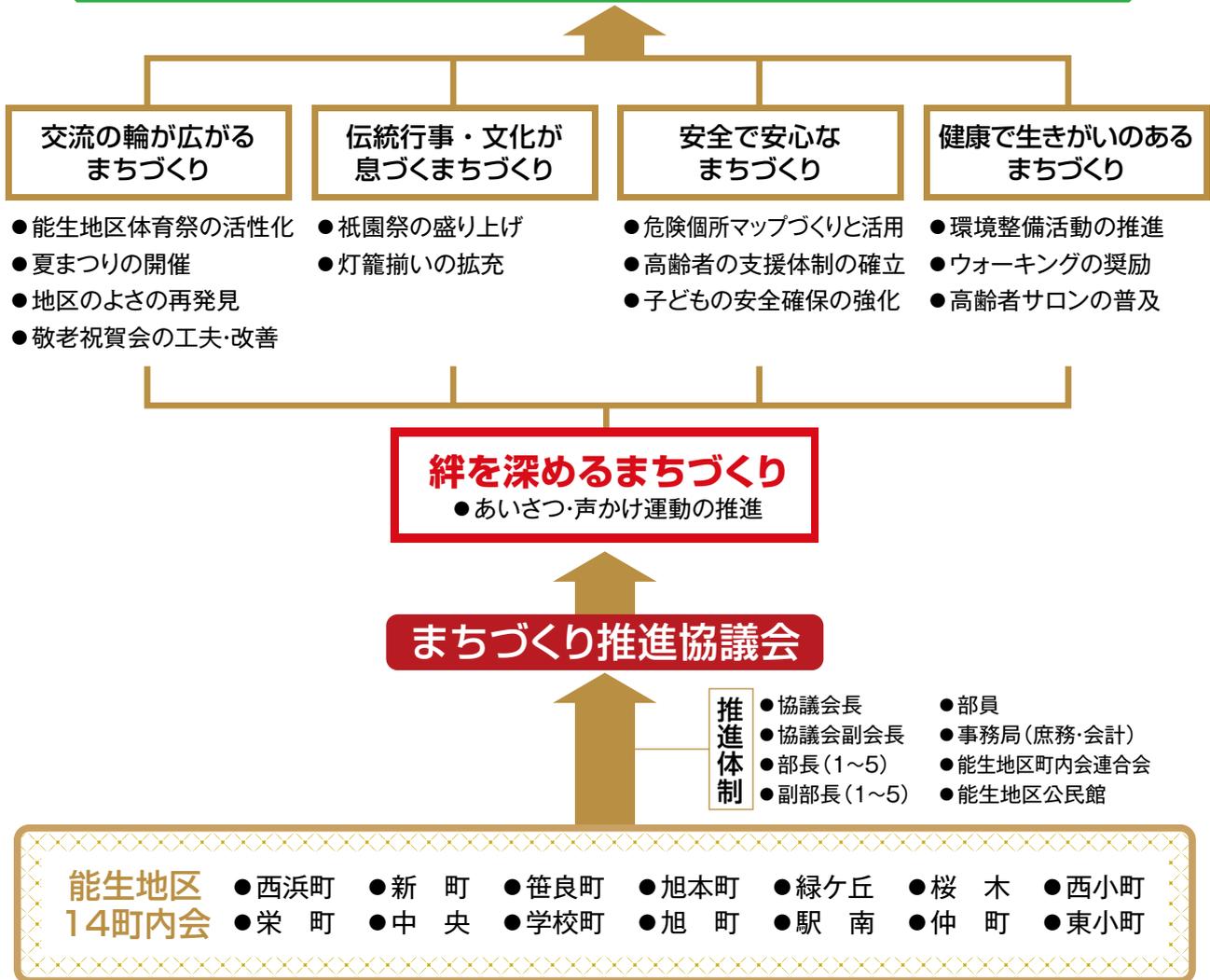
28年度以前	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
継続	普及				→

なお、各方策を進めるにあたり、ワークショップをもとに作成した企画・工程表を参考にしながら、事業や活動を推進できるようにしました。



将来像

住んでいてよかった これからも住み続けたい ふるさと能生の実現



地区の課題

- 少子高齢化傾向
- 若者が少ない
- 人と人とのつながりが希薄
- 行事への参加が少ない
- 防災・防犯面の意識が低い

行政・関係機関・団体など

- 糸魚川市 (能生事務所)
- 糸魚川地域振興局
- 能生地域包括支援センター
- 能生地区社会福祉協議会
- 糸魚川警察署能生交番
- 糸魚川消防署能生分署・消防団
- いずみ保育園
- 能生保育園
- 能生小学校
- 能生中学校
- 県立海洋高等学校
- 県立看護大学
- 能生地域区長連絡協議会
- 能生地域防犯組合協議会
- 能生地域活性化協議会
- 能生商工会
- 観光協会能生支部
- 能生白山神社
- その他

29年度・30年度は、企画・工程表に基づき活動を推進することとし、31年度以降は事業見直しを行い収支予算を見積もることとします。

● 収 入

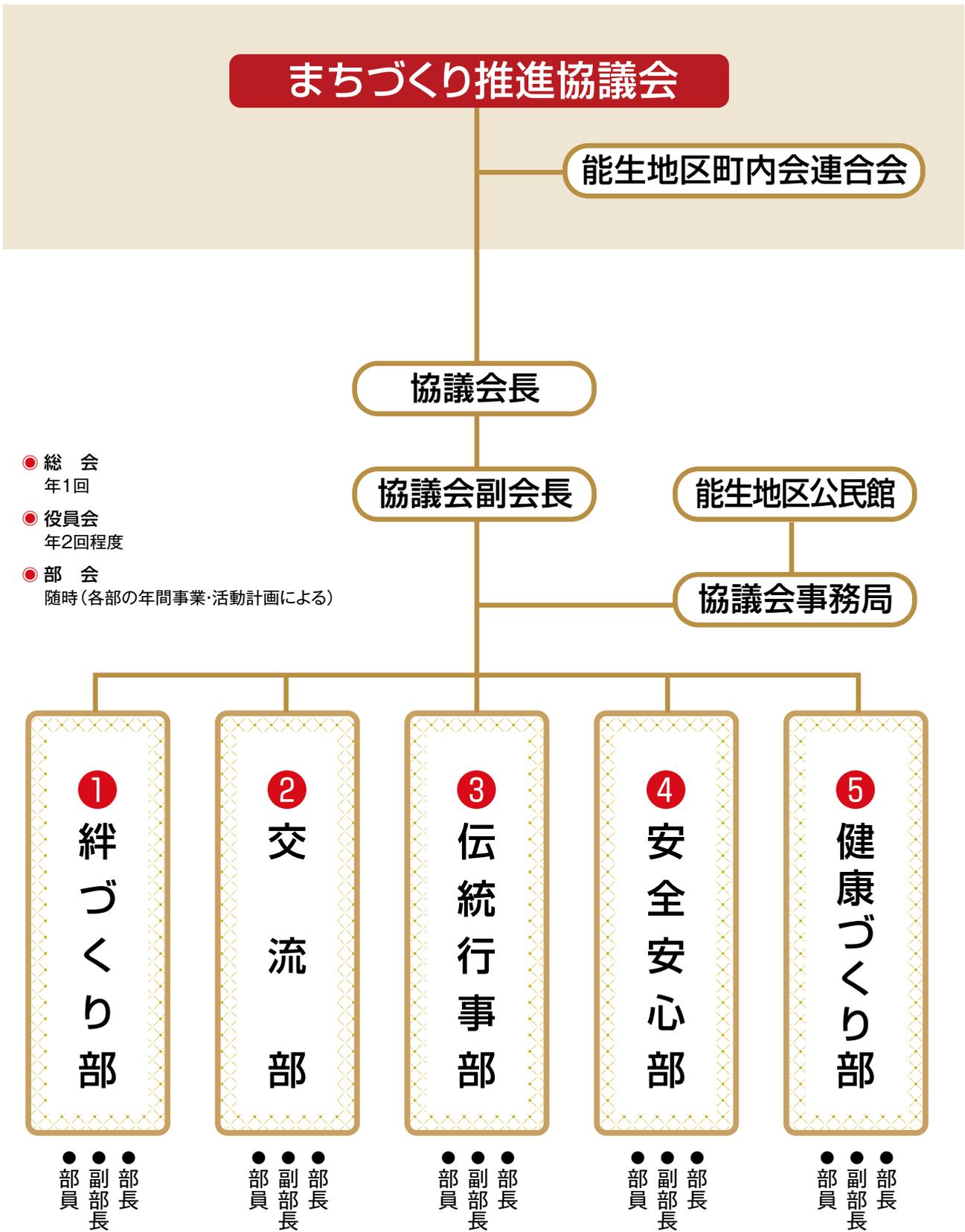
(単位:千円)

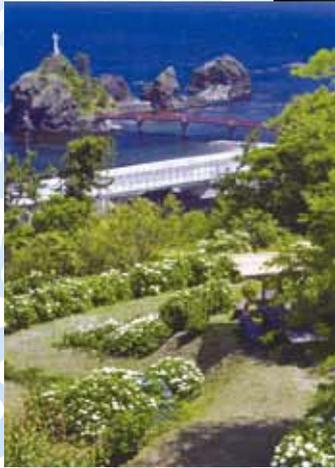
項 目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
市 補 助 金	850	900	事業費の見直し			1,750
自 己 財 源	50	50				100
合 計	900	950				1,850

● 支 出

(単位:千円)

項 目	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	合 計
協 議 会 運 営 費	100	100	事業費の見直し			200
絆 づ くり 部	150	100				250
交 流 部	250	250				500
伝 統 行 事 部	100	150				250
安 全 安 心 部	200	200				400
健 康 づ くり 部	100	150				250
合 計	900	950				1,850





能生地区地域づくりプラン策定委員会

事務局 〒949-1352 新潟県糸魚川市大字能生1941-2
TEL.025-566-3355 FAX.025-566-3382